

平成 17 事業年度

公立大学法人岩手県立大学の業務の実績に関する評価結果

平成 18 年 9 月

岩手県地方独立行政法人評価委員会

1 大学の概要

(1) 法人名 公立大学法人岩手県立大学

(2) 所在地 岩手県岩手郡滝沢村

(3) 役員の状況

理事長	市川喜紀
副理事長	谷口誠(学長)
専務理事	沼田俊昭(副学長)
専務理事	高橋公輝(副学長/事務局長)
理事	細江達郎(教育・学生支援本部長)
理事	船生豊(研究・地域連携本部長)
理事(非常勤)	有賀貞一((株)CSKホールディングス代表取締役)
理事(非常勤)	工藤洋子((株)ジョイス経理部長)
監事(非常勤)	近村功一((財)岩手経済研究所常務理事)
監事(非常勤)	村野栄司(村野栄司税理士事務所)

(4) 学部等の構成

ア 岩手県立大学 学部 看護学部
 社会福祉学部
 ソフトウェア情報学部
 総合政策学部
 大学院 看護学研究科(博士前期・後期課程)
 社会福祉学研究科(博士前期・後期課程)
 ソフトウェア情報学研究科(博士前期・後期課程)
 総合政策研究科(博士前期・後期課程)

イ 岩手県立大学盛岡短期大学部

ウ 岩手県立大学宮古短期大学部

(5) 学生数及び教職員数

ア 学生数

(ア) 岩手県立大学

学部	看護学部	390名
	社会福祉学部	417名
	ソフトウェア情報学部	738名
	総合政策学部	458名
	(学部計)	2,003名
大学院	看護学研究科/博士前期課程	23名
	博士後期課程	10名
	社会福祉学研究科/博士前期課程	25名
	/博士後期課程	8名
	ソフトウェア情報学研究科/博士前期課程	69名
	博士後期課程	27名
	総合政策研究科/博士前期課程	19名
	博士後期課程	10名
	(大学院計)	191名
	合計	2,194名

(イ) 岩手県立大学盛岡短期大学部 224名

(ウ) 岩手県立大学宮古短期大学部 211名

総計 2,629名

イ 教員数(専任教員)

(ア) 岩手県立大学

看護学部・研究科	55名
社会福祉学部・研究科	46名
ソフトウェア情報学部・研究科	53名
総合政策学部・研究科	48名
その他(学長、本部)	4名
合計	206名

(イ) 岩手県立大学盛岡短期大学部 26名

(ウ) 岩手県立大学宮古短期大学部 18名 総計 250名

ウ 職員数

職員	65名(うち宮古短期大学部10名)
任期付職員	7名(" -名)
非常勤職員	12名(" 2名)
派遣スタッフ	35名(" 4名)
計	119名(" 16名)

(6) 大学の特徴等

ア 沿革

岩手県立大学は、「共に支え、共に生きる、人間性豊かな社会」の形成に寄与するため、深い教養を身につけ、高度な専門知識を修得した自律的な人間の育成を目指し、看護学部、社会福祉学部、ソフトウェア情報学部及び総合政策学部の4学部による岩手県立大学に、県立短期大学として歴史と伝統を有する盛岡短期大学と宮古短期大学を再編・併設のうえ、平成10年4月に開学した。

平成11年12月には大学院設置認可を得て、順次大学院を整備し、平成16年度に現在の4学部4研究科、2短期大学部の体制が完成している。

この間、平成14年3月からは、新設4年制大学としての卒業生を社会に送り出している。また、大学改革を推進するため、平成15年11月にアクションプランを策定し、その着実な推進のため、平成17年度に法人化し、本事業年度を公立大学法人岩手県立大学の初年度として大学運営にあたり、今日に至っている。

イ 建学の理念と中期目標・中期計画

岩手県立大学は、「自然、科学、人間が調和した新たな時代を創造することを願い、人間性豊かな社会の形成に寄与する、深い知性と豊かな感性を備え、高度な専門性を身につけた自律的な人間を育成する大学を目指す」との建学の理念の下、豊かな教養の修得と人間尊重の精神の涵養、学際的領域を重視した特色ある教育・研究、実学・実践重視の教育・研究、地域社会への貢献、国際社会への貢献の5つの基本的方向により、開学以来の大学づくりを進めている。

中期目標では、大学を取り巻く様々な環境の急速な変化に対応し、公立大学法人への移行を機に大学運営の自律性をさらに確立し、教育・研究の一層の質的向上を図るため、この基本的方向を発展させながら、「実学実践」の教育・研究を通して地域に貢献する大学、志に火をつける「実学実践」の教育による人間的成長を培う大学、

「実学実践」を中核とした「人間教育」・「実証研究」・「地域貢献」の一体的な進展を目指していくことを掲げ、大学は、この目標を達成するための中期計画を策定し、各般にわたる活動に取り組んでいる。

2 全体評価

- (1) 岩手県立大学では、法人化初年度にあたる平成 17 事業年度において、理事長、学長のリーダーシップによる運営体制の確立、全学一体となった地域貢献への取組み、教養教育の強化への取組み、研究費の抜本的な見直しに重点を置いて取組みを進めてきた。
- (2) 平成 17 事業年度の業務の実績については、大学自らが策定した年度計画に記載されている 298 事項中 247 事項(82.9%)において、「特筆すべき進行状況にある」、「計画どおり進んでいる」又は「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、年度計画が概ね順調に実行されていると評価できる。
- (3) また、項目別評価において評価委員会が特に認める「特筆すべき進行状況にある」事項以外で、次の取組みは評価できる。

教育・学生支援本部と研究・地域連携本部の 2 本部体制の新たな導入や理事担当分野の明確化など理事長、学長のリーダーシップによる機動的・戦略的な大学運営に係る体制整備に取り組んでいる点

学外理事の登用や経営会議、教育研究会議への学外の有識者の登用、公開授業の開催など県民や社会に対する説明責任を重視した社会に開かれた大学運営に取り組んでいる点

以下の大学の教育研究、地域貢献等における特色ある取組み・創意工夫を行っている点

ア ウィンターセッションや出前講義など高校・大学の連携を推進している。

イ 教養教育に関する組織体制の検討を行い、これを所管し、研究・企画運営を行う「共通教育センター」を平成 18 年 4 月に設置することを決定している。

ウ アイーナキャンパスの開設に向け、管理運営基本方針を策定するとともに、施設整備、利用計画を策定している。また、看護学研究科においては、相談事業の準備を整え、社会福祉学研究科においては、社会人教育や相談機能の充実のための体制整備やソーシャルワーク演習、臨床相談センターとしての機能整備を行い、総合政策研究科においては、公共政策特別コースを設置することとしている。

エ 宮古短期大学部において、情報処理能力の育成のため、1 年次前期及び後期に情報リテラシー^{注1}のための科目を置いている。

オ 宮古短期大学部において、全教員が同じ時間帯に、学生の相談に応じる時間(オフィスアワー^{注2})を設け、きめ細かな支援・指導を行っている。

カ 看護学部において、卒業研究に取り組む意識の醸成のため、卒業研究発表会の 3、4 年生の参加奨励をしている。また、卒業生の評価を得るため、医療機関に対してアンケートを実施している。

キ 社会福祉学部において、教員の教育能力向上に関する研究や実習受入先の職員を対象とした研修に取り組んでいる。

ク ソフトウェア情報学部において、平成 15 年度にコンピュータサイエンスプログラム

と情報システムプログラムの 2 分野で J A B E E (日本技術者教育認定機構)による認定を受けた教育プログラムを実行し、1 年次からの講座配属や主体的課題設定型学習(P B L)と現実社会の問題をテーマとする取組み(S P A^{注3})の推進により、日本情報処理学会における学生奨励賞を平成 15 年度に続き全国の大学でトップとなる 5 名が受賞している。

ケ 看護学研究科において、社会人学生に対する研究科生の発表会やセミナーへの参加奨励や遠隔教育システムの活用によるランチョンセミナーを開催している。

コ 「就職支援センター」の設置と相談体制の整備等に取り組むとともに、「ジョブカフェ岩手県立大学なんでも相談所」の開設や各学部等における取組みにより高い就職率を達成している。(4 大就職率：97.1%、盛短就職率：89.7%、宮短就職率：90.0%)
以下の大学改革を推進させる取組みを進めている点

ア 学外理事の登用や学外有識者を委員とする経営会議と教育研究会議の設置など地域社会の幅広い意見を積極的に受け入れる体制の構築している。

イ 認証評価の受審計画を決定し、受審評価に向けた学内体制の整備に着手している。

ウ 東北・北海道地区一般教育研究集会の主管校として大会を開催運営することにより、全学的に教養教育改革の方向性を検討するとともに、現代 G P、特色 G P^{注4}等への申請により今後目指すべき大学教育の改革に向けて積極的な取組みの推進を図っている。

2 本部体制の新たな導入による全学一元的管理体制の構築のほか、財務面での財務会計システム、人事給与システム、旅費システム及び健康管理システムの導入による事務効率の向上や外部研究資金獲得の奨励・支援による過去最多の資金獲得(78 件 185 百万円余(対前年比 147.5%))など業務運営等の改善及び効率化、財務状況の改善に関する取組みを進めている点。

以下の自己点検・評価及び情報公開に関する取組みを進めている点

ア 「岩手県立大学評価委員会」を設置し、各部署の自己点検・評価や教員業績評価、中期計画・年度計画の実績と評価の集約、学校教育法に基づく認証評価の受審等を一元的に管理し、実施していく体制を構築している。

イ ホームページ等を活用して入試情報及び教員の教育・研究・社会貢献活動情報など、大学情報の積極的な公開・提供を行っている。

上記のほか、ユニバーサルデザイン整備計画の策定、計画に基づく施設整備及び安全管理を行っている点、「組込みソフトものづくり塾」を開講し、他の大学や社会人 15 名を含む受講者に対し、37 日間延べ 209 時間にわたる講習を行っている点、学生相談室、健康管理センターを一体化し、心身両面にわたるサポート環境の充実を図っている点

- (4) 一方、「やや遅れている」又は「重大な改善事項がある」事項が 51 事項(17.1%)認められ、特に「重大な改善事項がある」13 事項に関し、その遅れに合理的な理由がないものについては、改善に向けた次年度の取組み強化や計画の見直しを検討する必要があると認められる。

注 1 情報リテラシー：情報及び情報手段を主体的に選択して活用していくための個人の基礎的な資質

注 2 オフィスアワー：学生が気軽に講義や学習についての質問や自らの進路などに関する相談のため、予約なしに研究室に教員を訪問することができるように、研究室等を開放する一定の時間帯

注 3 SPA(Software Practice Approach)：現場には机上の理論では解決できない問題があること、本来ソフトウェア技術は応用技術であり、それ故に現場にこそ常に新しい題材があることを体験し、その経験を以後の研究活動に反映することを目指す取組み

注 4 現代 G P(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)、特色 G P(特色ある大学教育支援プログラム)：文部科学省が国公立大学から学生の教育の質の向上などの大学教育改革の取組みを選定する制度。G Pは「Good Practice」(優れた取組み)の略

3 項目別評価

大学の教育・研究等の質の向上に関する目標

本項目については、年度計画記載の243事項中196事項が「特筆すべき進行状況にある」、「計画どおり進んでいる」又は「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「概ね計画どおり進んでいる」と判断される。

区分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	24	9.9
A「計画どおり進んでいる」	160	65.9	136	56.0
B「概ね計画どおり進んでいる」	36	14.8	36	14.8
C「やや遅れている」	35	14.4	35	14.4
D「重大な改善事項がある」	12	4.9	12	4.9
合計	243	100.0	243	100.0

1 教育に関する目標

(1) 教育の成果に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される（又は課題がある）。

教養教育の成果を上げるための方策

盛岡短期大学部において、情報リテラシー教育と語学教育の少人数クラス化の具体策として、担当教員の増員やTA^{注5}2名を活用した取り組み方針を決定している。

【AA】

宮古短期大学部において、全教員が基礎ゼミを担当することにより、少人数教育を確保している。【AA】

専門教育の成果を上げるための方策

ソフトウェア情報学部において、卒業研究(目標「60%以上は実践的テーマ」)について、学生を誘導することにより実践的研究が92%に達している。【AA】

卒業後の進路等の指導に関する具体的方策

看護学研究科において、専門職の高度化に対応した資格教育を提供するため、本事業年度内に小児看護専門看護師教育課程の認定を受けている。【AA】

盛岡短期大学部において、二級建築士の資格取得のため模擬試験を実施し、その成績分析から問題点を把握し、回答率の低い問題を授業で取り上げるなど改善策を行っている。【AA】

宮古短期大学部において、県内外の企業75社を訪問し、求人情報の収集を図るとともに、就職相談員を1名配置している。【AA】

教育の成果・効果の検証に関する具体的方策

入学時、進学時の修学目標の設定と指導について、年度計画に掲げる方法の策定及び18年度入学生から実施するための準備が未着手である。【D】

注5 TA (Teaching Assistant) 制度：学部教育における実験・演習などへの補助者の導入による教育環境の充実や、大学院生への教育実践の機会を提供するとともに経済的支援に資するため、優秀な大学院生を教育補助者として活用する制度

卒業生及び就職先からの意見聴取について、大学経営評価指標の作成のため18年度に実施にすることとしている。【D】

(2) 教育内容等に関する目標を達成するための措置

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される（又は課題がある）。

アドミッション・ポリシー^{注6}に応じた入学者選抜を実現するための具体的方策

ソフトウェア情報学部において、教育目標に対応した具体的な入試制度の整備として全国推薦制度を導入している。【AA】

ソフトウェア情報学部において、独自の思考力試験について、解説書を作成し、配布するとともに、入試説明会等で目的、内容の説明や勉強法の助言等を行っている。【AA】

盛岡短期大学部において、入試制度の多様化・柔軟化に向け、入試制度に係るアンケートの実施や他大学の調査のほか、推薦入試特別枠を創設している。【AA】

大学院の各研究科におけるアドミッション・ポリシーについて、年度計画に掲げる明文化が未着手である。【D】

教育理念等に応じた教育課程を編成するための具体的方策

学生の多様な専門的学習ニーズへの対応について、年度計画に掲げる履修推薦科目リストの作成が未着手である。【D】

他学部専門教育の履修の積極的奨励について、年度計画に掲げる学部相互の履修可能科目や単位の扱いの改善が未着手である。【D】

社会福祉学研究科において、より高度な教育課程の提供に向け、指導教員3名の増員など研究指導体制を整備するとともに、アイーナキャンパスでの社会人教育等の体制・機能整備を行っている。【AA】

授業形態、学習指導方法等に関する具体的方策

と同じ。

と同じ。

インターンシップ^{注7}やボランティア活動などの実践活動の単位化について、年度計画に掲げる単位化に向けた現状と課題の整理に未着手である。【D】

(3) 教育の実施体制等に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される（又は課題がある）。

大学間、学内共同教育等に関する具体的方策

大学、2短期大学部間の単位互換制度を創設している。【AA】

(2) 同じ。

注6 アドミッション・ポリシー：入学者受入方針

注7 インターンシップ：学生が自らの専攻や将来の職業に関連した就業体験を行う制度。大学と企業が連携を結んで実施

(2) と同じ。

教育活動の評価と教育の質の向上のための組織的取組み

学生による授業評価について、全科目を対象として実施し、その結果を公表している。【AA】

全学の組織的なFD^{注8}活動推進のため、FD連絡会を設置するとともに、FD研修会等具体的な取組みを進めている。【AA】

授業方法の改善を進めるため、FD連絡会を設置し、研修会、相互授業聴講やシラバス^{注9}の改善等に取り組んでいる。【AA】

(4) 学生への支援に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

社会人・留学生等に対する配慮

留学生の相談体制の整備について、留学生アドバイザー制度の創設のほか、学生による異文化交流サークルの設立を誘導し、実現している。【AA】

日本語等の科目を提供する準備について、留学生を対象としたアンケート調査の実施、日本語補講の試行を行っている。【AA】

留学生を支援するための教職員の組織化について、大学後援会内に留学生支援基金を創設し、貸付実行している。【AA】

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

研究水準及び研究の成果等に関する目標を達成するための措置

地域貢献に資する研究を推進するため、学内研究費のメニューの見直しや見直し後のメニューに基づく研究を進めている。また、外部研究資金等の導入・活用に向けた(仮称)戦略的地域再生研究機構構想を策定している。【AA】

地域専門職高度化プロジェクトにおいて、遠隔教育システムの試作、遠隔コミュニケーションツールの開発・試用に取り組んでいる。【AA】

テラヘルツ^{注10}応用研究プロジェクトにおいて、実践ラボの設置や装置導入など応用研究推進のための環境整備を図るとともに、応用研究に着手している。また、先行研究者によるセミナー開催など学内の研究の人的体制の充実強化も行っている。【AA】

(2) 研究実施体制等の整備に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される(又は課題がある)。

研究資金の配分システムに関する具体的方策

個人、学部、全学レベルの研究推進の枠組みの整理や地域貢献に係る研究種目の設定など研究費の効果的な配分に向けた体制整備を行っている。また、研究費の審査手続きや評価基準の明確化、学外有識者による審査など公平性、透明性ある研究費評価制度の整備を行っている。【AA】

知的財産の創出、取得、管理及び活用に関する具体的方策

年度計画に掲げる知的財産のデータベース作成が未着手である。【D】

学部・研究科、短期大学部の研究実施体制等に関する特記事項

総合政策学部・総合政策研究科において、地域との連携を行っていくための研究チームを構成するとともに、具体的な取組みについて検討し、その研究成果を論文としてまとめている。【AA】

研究活動の適正な評価及び評価結果を質の向上につなげるための具体的方策

適正な評価に基づく研究費配分について、研究活動の実績を重視した研究費配分を可能とした学術研究費交付制度の見直しを完了している。【AA】

3 地域貢献、国際貢献に関する目標

(1) 地域貢献に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項に課題がある。

地域の他大学等との連携・支援に関する具体的方策

年度計画に掲げる他大学研究科との単位互換制度の検討が未着手である。【D】

(2) 国際貢献に関する目標

平成17事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

留学生交流その他諸外国の大学等との教育研究上の交流に関する具体的方策

中国大連交通大学からの留学生5名の受入れのほか、次年度の受入留学生の奨学金の採択決定など交換留学の促進に向けた取組みを行っている。【AA】

業務運営の改善及び効率化に関する目標

本項目については、年度計画記載の26事項中25事項が「特筆すべき進行状況にある」、「計画どおり進んでいる」又は「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「概ね計画どおり進んでいる」と判断される。

注8 FD(ファカルティ・ディベロップメント):教員がより質の高い教育を提供できるように、教育内容や教授能力を改善・向上させるための組織的な取組みの総称

注9 シラバス:教師がコースの初めに学生に配布する授業計画。各回の授業のテーマや、そのために予習しておく事柄、課題、評価の方法と基準などを内容とする。

注10 テラヘルツ:テラヘルツ(光、波)は、光と電波の間にある特殊な電磁波で、被爆や損傷なく様々な非破壊検査や診断などに活用が期待され、国際的にも研究開発への関心が高まっている。

区 分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	5	19.2
A「計画どおり進んでいる」	18	69.2	13	50.0
B「概ね計画どおり進んでいる」	7	26.9	7	26.9
C「やや遅れている」	1	3.9	1	3.9
D「重大な改善事項がある」	0	0.0	0	0.0
合 計	26	100.0	26	100.0

1 運営体制の改善に関する目標

平成 17 事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

全学的な経営戦略の確立に関する具体的方策

理事長及び学長のリーダーシップを補佐するため、役員会議の設置・開催に加え、常勤役員による常務会の設置・開催により意見交換・協議の場を増やしている。【AA】

運営組織の効果的・機能的な運営に関する具体的方策

付属機関の権限を本部に集中させるなど一体的な業務推進を図る体制整備や本部長補佐、室の設置など本部長が中心となる業務迅速化に向けた具体的な体制が整備されている。【AA】

内部監査機能の充実に係る具体的方策

内部チェックに係る要領を整備するとともに、その要領に基づき内部考査を実施している。【AA】

2 事務等の効率化、合理化に関する目標

平成 17 事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

事務組織の機能・編成の見直しに関する具体的方策

法人化後の業務の検証を行い、事務組織及び職員数を見直している。【AA】

業務のアウトソーシング等に関する具体的方策

旅費業務のアウトソーシング^{注 11}、その後の職員アンケートによる検証、その結果に基づくシステムのバージョンアップを行っている。【AA】

財務内容の改善に関する目標

本項目については、年度計画記載の 10 事項中 8 事項が「特筆すべき進行状況にある」、「計画どおり進んでいる」又は「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「概ね計画どおり進んでいる」と判断される。

注 11 アウトソーシング：業務を外部の専門業者に委託すること。

区 分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	2	20.0
A「計画どおり進んでいる」	5	50.0	3	30.0
B「概ね計画どおり進んでいる」	3	30.0	3	30.0
C「やや遅れている」	1	10.0	1	10.0
D「重大な改善事項がある」	1	0.0	1	10.0
合 計	10	100.0	10	100.0

1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標

平成 17 事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される（又は課題がある）。

外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置

「知的資産ガイド」の完成、配布により研究成果を広く外部に提供するとともに、外部研究資金の導入促進の具体策として、(仮称)戦略的地域再生研究機構構想を策定している。【AA】

年度計画に掲げる有料講座の導入について検討のうえ、17 年度の実施を見送っている。【D】

2 経費の抑制に関する目標

平成 17 事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

経費の抑制に関する目標を達成するための措置

省エネアクションプランを策定し、当該プランに基づく取組みにより燃料使用量の削減を図っている。【AA】

自己点検・評価・改善及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

本項目については、年度計画記載の 9 事項中 9 事項が「特筆すべき進行状況にある」、「計画どおり進んでいる」又は「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「計画どおり進んでいる」と判断される。

区 分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	1	11.1
A「計画どおり進んでいる」	7	77.8	6	66.7
B「概ね計画どおり進んでいる」	2	22.2	2	22.2
C「やや遅れている」	0	0.0	0	0.0
D「重大な改善事項がある」	0	0.0	0	0.0
合 計	9	100.0	9	100.0

1 評価の充実に係る目標

平成 17 事業年度の実績のうち、下記の事項が注目される。

評価結果を大学運営の改善に活用するための具体的方策

教員業績評価のフィードバック体制を構築するとともに、当該結果の集計・分析及び公表を行っている。【AA】

施設設備の整備・活用等及び安全管理に関する目標

本項目については、年度計画記載の10事項中9事項が、「計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「概ね計画どおり進んでいる」と判断される。

区 分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	-	-
A「計画どおり進んでいる」	9	90.0	9	90.0
B「概ね計画どおり進んでいる」	0	0.0	0	0.0
C「やや遅れている」	1	10.0	1	10.0
D「重大な改善事項がある」	0	0.0	0	0.0
合 計	10	100.0	10	100.0

予算（人件費の見積もりを含む。） 収支計画及び資金計画

該当なし

短期借入金の限度額

該当なし

重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画

該当なし

剰余金の使途

該当なし

岩手県地方独立行政法人法施行細則で定める業務運営に関する事項

本項目については、年度計画記載の2事項中2事項が、「概ね計画どおり進んでいる」と認められ、総合的に勘案すると、進行状況は「概ね計画どおり進んでいる」と判断される。

区 分	自己評価	割合(%)	評価委員会評価	割合(%)
AA「特筆すべき進行状況にある」	-	-	-	-
A「計画どおり進んでいる」	0	0.0	0	0.0
B「概ね計画どおり進んでいる」	2	100.0	2	100.0
C「やや遅れている」	0	0.0	0	0.0
D「重大な改善事項がある」	0	0.0	0	0.0
合 計	2	100.0	2	100.0

4 主な運営データ

区 分	単位	実 績			備 考		
		15年度	16年度	17年度			
入学者選抜 の状況	4大 看護学部	入学者数	人	92	92	94	「15年度」は、平成16年度入学者選抜 「16年度」は、平成17年度入学者選抜 「17年度」は、平成18年度入学者選抜 志願倍率 = 志願者数 / 募集定員 実質倍率 = 受験者数 / 合格者数 17年度の「入学者数」は「入学手続き者数」
		志願者数	人	648	471	469	
		志願倍率	倍	7.2	5.2	5.2	
		受験者数	人	495	356	364	
		実質倍率	倍	5.2	3.7	3.8	
	社会福祉学部	入学者数	人	97	97	98	
		志願者数	人	422	509	394	
		志願倍率	倍	4.7	5.7	4.4	
		受験者数	人	348	393	319	
		実質倍率	倍	3.3	3.9	3.0	
	ソフトウェア情報学部	入学者数	人	160	163	170	
		志願者数	人	859	730	421	
		志願倍率	倍	5.4	4.6	2.6	
		受験者数	人	659	566	411	
		実質倍率	倍	4.0	3.4	2.4	
	総合政策学部	入学者数	人	106	106	105	
		志願者数	人	504	521	522	
		志願倍率	倍	5.0	5.2	5.2	
		受験者数	人	402	389	396	
		実質倍率	倍	3.6	3.6	3.6	
	合計	入学者数	人	455	458	467	
		志願者数	人	2,433	2,231	1,806	
		志願倍率	倍	5.5	5.1	4.1	
		受験者数	人	1,904	1,704	1,490	
		実質倍率	倍	4.0	3.6	3.1	
(再掲) 社会人		入学者数	人	4	3	2	
		志願者数	人	13	17	10	
		志願倍率	倍	-	-	-	
		受験者数	人	11	15	10	
		実質倍率	倍	2.2	5.0	5.0	
(再掲) 外国人留学生	入学者数	人	1	1	3		
	志願者数	人	7	1	4		
	志願倍率	倍	-	-	-		
	受験者数	人	5	1	3		
	実質倍率	倍	2.5	1.0	1.0		
大学院 看護学研究科	博士前期	入学者数	人	7	13	13	
		志願者数	人	11	16	15	
		志願倍率	倍	0.7	1.1	1.0	
		受験者数	人	10	16	15	
		実質倍率	倍	1.4	1.2	1.2	

区 分		単 位	実 績			備 考		
			15年度	16年度	17年度			
	社会福祉学 研究科	博士後期	入学者数	人	6	4	5	
			志願者数	人	6	4	5	
			志願倍率	倍	1.2	0.8	1.0	
			受験者数	人	6	4	5	
			実質倍率	倍	1.0	1.0	1.0	
		博士前期	入学者数	人	10	13	8	
			志願者数	人	28	40	32	
			志願倍率	倍	1.9	2.7	2.1	
			受験者数	人	26	40	29	
			実質倍率	倍	2.0	2.5	2.9	
		博士後期	入学者数	人	4	4	3	
			志願者数	人	5	7	9	
			志願倍率	倍	1.7	2.3	3.0	
			受験者数	人	5	7	8	
			実質倍率	倍	1.3	1.8	2.7	
	ソフトウェア情報学研 究科	博士前期	入学者数	人	37	27	39	
			志願者数	人	41	31	42	
			志願倍率	倍	1.0	0.8	1.1	
			受験者数	人	40	30	42	
			実質倍率	倍	1.1	1.1	1.0	
		博士後期	入学者数	人	4	12	8	
			志願者数	人	6	13	9	
			志願倍率	倍	1.2	2.6	0.9	
			受験者数	人	6	13	9	
			実質倍率	倍	1.2	1.1	1.1	
	総合政策研 究科	博士前期	入学者数	人	7	6	9	
			志願者数	人	12	9	12	
志願倍率			倍	0.8	0.6	0.8		
受験者数			人	12	9	12		
実質倍率			倍	1.5	1.5	1.2		
博士後期		入学者数	人	3	1	2		
		志願者数	人	5	1	2		
		志願倍率	倍	1.0	0.2	0.4		
		受験者数	人	5	1	2		
		実質倍率	倍	1.3	1.0	1.0		
合計	入学者数	人	78	80	87			
	志願者数	人	114	121	126			
	志願倍率	倍	1.1	1.2	1.2			
	受験者数	人	110	120	122			
	実質倍率	倍	1.3	1.4	1.3			
短大	盛岡短期大学部	入学者数	人	114	110	119		
		志願者数	人	368	369	336		
		志願倍率	倍	3.7	3.7	3.4		
		受験者数	人	286	286	258		
		実質倍率	倍	2.1	2.2	1.9		

区 分		単位	実 績			備 考			
			15年度	16年度	17年度				
学生定員の 充足状況	4大	宮古短期大学部	入学者数	人	104	108	123	毎年度5月1日現在	
			志願者数	人	176	166	168		
			志願倍率	倍	1.7	1.7	1.7		
			受験者数	人	172	160	158		
			実質倍率	倍	1.2	1.0	1.1		
	大学院	4大	看護学部	定員	人	380	380		380
				在籍数	人	386	393		390
				充足率	%	101.6	103.4		102.6
			社会福祉学部	定員	人	380	380		380
				在籍数	人	417	426		417
				充足率	%	109.7	112.1		109.7
			ソフトウェア情報学部	定員	人	660	660		660
				在籍数	人	755	752		738
				充足率	%	114.4	113.9		111.8
		総合政策学部	定員	人	420	420	420		
			在籍数	人	453	454	458		
			充足率	%	107.9	108.1	109.0		
		合計	定員	人	1,840	1,840	1,840		
			在籍数	人	2,011	2,025	2,003		
			充足率	%	109.3	110.1	108.9		
		大学院	看護学研究科	博士前期	定員	人	30		30
在籍数					人	28	23	23	
充足率					%	93.3	76.7	76.7	
博士後期				定員	人	-	5	10	
				在籍数	人	-	6	10	
				充足率	%	-	120.0	100.0	
社会福祉学研究科	博士前期		定員	人	30	30	30		
			在籍数	人	32	25	25		
			充足率	%	106.7	83.3	83.3		
	博士後期		定員	人	-	3	6		
			在籍数	人	-	4	8		
			充足率	%	-	133.3	133.3		
ソフトウェア情報学研究科	博士前期		定員	人	80	80	80		
			在籍数	人	60	71	69		
			充足率	%	75.0	88.8	86.3		
	博士後期		定員	人	15	15	15		
			在籍数	人	25	21	27		
			充足率	%	166.7	140.0	180.0		
総合政策研究科	博士前期	定員	人	30	30	30			
		在籍数	人	32	26	19			
		充足率	%	106.7	86.7	63.3			
	博士後期	定員	人	5	10	15			
		在籍数	人	7	10	10			
		充足率	%	140.0	100.0	66.7			

区 分			単位	実 績			備 考				
				15年度	16年度	17年度					
	短大	合計	定員	人	190	203	216				
			在籍数	人	184	186	191				
			充足率	%	96.8	91.6	88.4				
		盛岡短期大学部	定員	人	200	200	200				
			在籍数	人	222	224	224				
			充足率	%	111.0	112.0	112.0				
		宮古短期大学部	定員	人	200	200	200				
			在籍数	人	245	219	211				
			充足率	%	122.5	109.5	105.5				
卒業・修了 の状況	4大	看護学部	卒業生数	人	93	100	99				
		社会福祉学部	卒業生数	人	96	113	106				
		ソフトウェア情報学部	卒業生数	人	152	149	149				
		総合政策学部	卒業生数	人	108	105	104				
		合計	卒業生数	人	459	467	458				
	大学院	看護学研究科	博士前期	修了者数	人	12	11		6		
			博士後期	修了者数	人	-	-		-		
		社会福祉学研究科	博士前期	修了者数	人	16	13		12		
			博士後期	修了者数	人	-	-		-		
		ソフトウェア情報学研	博士前期	修了者数	人	26	26		30		
			博士後期	修了者数	人	5	4		2		
		総合政策研究科	博士前期	修了者数	人	13	9		4		
			博士後期	修了者数	人	-	0		1		
	合計	修了者数	人	72	63	55					
	短大	盛岡短期大学部	卒業生数	人	107	104	109				
		宮古短期大学部	卒業生数	人	126	114	101				
	就職の状況	4大	看護学部	県内	就職者数	人	42		28	29	毎年度3月卒業生調べ 「就職率」=就職者数/就職希望者数
					割合	%	48.8		30.4	31.9	
				県外	就職者数	人	44		64	62	
					割合	%	51.2		69.6	68.1	
小計			就職者数	人	86	92	91				
就職率			%	97.7	97.9	98.9					
社会福祉学部			県内	就職者数	人	43	30	48			
				割合	%	55.1	34.1	53.9			
			県外	就職者数	人	35	58	41			
				割合	%	44.9	65.9	46.1			
小計			就職者数	人	78	88	89				
就職率			%	97.5	93.6	98.9					
ソフトウェア情報学部			県内	就職者数	人	38	27	17			
				割合	%	37.6	26.0	16.0			
			県外	就職者数	人	63	77	89			
				割合	%	62.4	74.0	84.0			
小計			就職者数	人	101	104	106				
就職率	%	94.4	97.2	96.4							

区 分		単位	実 績			備 考		
			15年度	16年度	17年度			
	総合政策学部	県内	就職者数	人	50	49	35	
			割合	%	63.3	59.8	42.2	
		県外	就職者数	人	29	33	48	
			割合	%	36.7	40.2	57.8	
		小計	就職者数	人	79	82	83	
			就職率	%	90.8	95.3	94.3	
		合計	県内	就職者数	人	173	134	129
				割合	%	50.3	36.6	35.0
	県外		就職者数	人	171	232	240	
			割合	%	49.7	63.4	65.0	
	小計		就職者数	人	344	366	369	
			就職率	%	95.0	96.1	97.1	
	短大	盛岡短期大学部	県内	就職者数	人	46	44	59
				割合	%	78.0	74.6	75.6
			県外	就職者数	人	13	15	19
				割合	%	22.0	25.4	24.4
小計			就職者数	人	59	59	78	
			就職率	%	85.5	84.3	89.7	
宮古短期大学部			県内	就職者数	人	57	57	41
				割合	%	72.2	71.2	56.9
		県外	就職者数	人	22	23	31	
			割合	%	27.8	28.7	43.1	
		小計	就職者数	人	79	80	72	
			就職率	%	81.4	89.9	90.0	
外部研究資金の獲得状況		看護学部	件数	件	7	11	24	
			金額	千円	3,445	12,000	18,500	
		(再掲) 科学研究費	件数	件	5	11	14	
			金額	千円	3,000	12,000	17,500	
	社会福祉学部	件数	件	9	9	13		
		金額	千円	33,230	29,379	57,409		
	(再掲) 科学研究費	件数	件	2	5	6		
		金額	千円	1,700	6,100	6,000		
	ソフトウェア情報学部	件数	件	24	36	21		
		金額	千円	54,641	70,263	91,911		
	(再掲) 科学研究費	件数	件	7	12	11		
		金額	千円	8,400	21,400	16,200		
	総合政策学部	件数	件	11	9	11		
		金額	千円	29,490	12,000	12,900		
	(再掲) 科学研究費	件数	件	8	9	10		
		金額	千円	26,490	12,000	12,500		
短期大学部	件数	件	6	3	9			
	金額	千円	5,439	1,796	4,295			
(再掲) 科学研究費	件数	件	1	2	4			
	金額	千円	3,000	1,300	2,000			

区 分			単 位	実 績			備 考
				1 5 年 度	1 6 年 度	1 7 年 度	
	合計	件数	件	57	68	78	
		金額	千円	126,245	125,438	185,015	
	(再掲) 科学研究費	件数	件	23	39	44	
		金額	千円	42,590	52,800	54,200	
産学官連携 の状況	共同研究	看護学部	件	-	-	-	
		社会福祉学部	件	1	1	2	
		ソフトウェア情報学部	件	7	12	10	
		総合政策学部	件	1	-	-	
		盛岡短期大学部		-	-	1	
		宮古短期大学部		-	-	-	
		小計	件	9	13	13	
	受託研究	看護学部	件	1	-	-	
		社会福祉学部	件	6	3	5	
		ソフトウェア情報学部	件	9	11	10	
		総合政策学部	件	-	-	1	
		盛岡短期大学部		2	1	1	
		宮古短期大学部		3	-	1	
		小計	件	21	15	18	
	合計	看護学部	件	1	-	-	
		社会福祉学部	件	7	4	7	
		ソフトウェア情報学部	件	16	23	20	
		総合政策学部	件	1	-	1	
		盛岡短期大学部		2	1	2	
		宮古短期大学部		3	-	1	
		小計	件	30	28	31	
地域貢献の 状況	公開講座	開講数	講座	23	21	19	
		受講者数	人	2,866	3,245	1,791	
	施設の学外利用者数	図書館	人	5,113	5,512	12,802	
		体育施設等	人	15,772	15,558	15,832	
	審議会委員等への就 任、講師派遣数	看護学部	人	219	206	201	
		社会福祉学部	人	350	324	316	
		ソフトウェア情報学部	人	94	91	98	
		総合政策学部	人	334	237	288	
		盛岡短期大学部	人	80	57	78	
		宮古短期大学部	人	37	33	39	
		本部	人	-	-	28	
		合計	人	1,114	948	1,048	
	(再掲) 県関係	看護学部	人	64	66	56	
		社会福祉学部	人	135	99	86	
		ソフトウェア情報学部	人	26	16	17	
		総合政策学部	人	105	68	100	
		盛岡短期大学部	人	23	22	20	
宮古短期大学部		人	9	4	7		
本部		人	-	-	8		
合計		人	326	275	294		

区 分		単位	実 績			備 考	
			1 5 年度	1 6 年度	1 7 年度		
	非常勤講師	看護学部	人	17	21	30	
		社会福祉学部	人	52	53	58	
		ソフトウェア情報学部	人	15	15	19	
		総合政策学部	人	43	35	32	
		盛岡短期大学部	人	20	15	25	
		宮古短期大学部	人	5	6	6	
		本部	人	-	-	5	
		合計	人	152	145	175	